

【大会細則】

1. 本大会は、2022 年度全日本軟式野球連盟規則(学童の部)により行う。
2. 試合球は、全軟公認マルエスJ号球とする。
3. 登録選手は1チーム 20 名以内とし、正規のユニフォームに背番号を表示すること。
代表者・監督・コーチ2名・スコアラー・マネージャーのベンチ入りを認める。
4. 捕手は必ず全軟公認のマスク・レガース・プロテクター・ヘルメット・ファウルカップを着用すること。
5. 打者・走者・コーチャーは、危険防止のため必ずヘルメットを着用すること。
6. 各チームは、試合開始時間 30 分前に、メンバー表4部を会場本部に提出すること。
7. 試合開始予定時刻を経過して正式試合が行えないチームは放棄とみなし、相手チームに勝利を与える。
8. 試合中のベンチは、組合せ表の若番を一塁側とする。
9. 試合は6回戦とする。
 - a) 試合開始後 90 分を超えて新しいイニングには入らない。(決勝戦を除く)
 - b) 6回終了あるいは 90 分経過しても同点の場合、タイブレーク(無死一・二塁、打者継続)を 1 回のみ行い、勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決する。
 - c) 雨天等で試合続行ができない場合、試合成立は4回終了または試合時間 60 分経過とする。
試合が成立しなかった場合は、翌日以降に再試合とする。
 - d) 決勝戦以外はイニング4回以降 10 点差、5回以降7点差でコールドゲームを適用する。
 - e) 決勝戦は時間無制限とし、コールドゲームを適用しない。
 - f) 決勝戦は、6回終了時同点の場合、2イニングのみ延長戦を行う。
 - g) 決勝戦のみ延長戦でも勝敗が決まらない場合、タイブレークで勝敗が決するまで行う。
10. 全試合シートノックは禁止する。
11. 試合中のベンチ内での喫煙、飲食は禁止する。
12. 試合中における審判の判定に対する抗議は禁止する。但し、アピールは監督及び当該プレーヤーに限り行うことができる。
13. ファウルボールは、各チームで処理する。(ライト線は一塁側・レフト線は三塁側・バックネット側は攻撃側とする。)
14. 試合中の負傷、事故等については大会本部にて応急処置は行うが、以降の処置については、各チームの責任で処置すること。
15. 審判員の判定に対して、保護者・応援者は批判しないこと。また、応援についても小学生らしくマナーを守り、フェアな応援をすること。
16. 投手は、肩・肘を考慮して1日 70 球(4年以下は 60 球)とし、当該バッター終了後に交代する。
17. 先攻後攻は、主将同士のジャンケンにて決定する。
18. 試合終了後は、両チームにてグラウンド整備をし、必ずベンチ内及び周辺の清掃を行うこと。
19. 攻守交代は駆け足で行い、試合球はマウンドに置いてベンチに戻ること。
20. 各グラウンドのローカルルールについては、試合前に主審より説明を受けること。
21. 試合中の伝令、指示のタイムは守備・攻撃どちらも3回までとする。
22. この大会細則に定められていない事項が生じた場合は、大会本部にて協議し決定する。
23. この大会の塁審は、当該チームで行う。(各チーム1名または2名)